

薬学部って、実際どう？

6年間の学びと 学生生活のリアル

立命館大学 薬学部 5回生
発表者：高田・深津

勉強だけ？
6年間って長い？



薬なら、知識で医療を支えられる

治療の「当たり前」を支える

薬は、ほぼすべての治療に関わる。

直接体に触れなくても、薬の専門家として
患者さんの命と生活を支えられる。



忙しい。でも、生活は勉強だけじゃない。

入学前の想像

薬学部 = ずっと勉強

遊べない？ ついていけない？

実際に入ると

**他学部に比べ忙しい。
でも、意外と時間はある。**

課題は「毎週少しずつ」。

ためないことが、時間を作るコツ。

6年間は、基礎から現場へ少しずつ進む

1 回生

高校理科を
薬学につなぐ

2 回生

人体・薬の
基礎を深める

3 回生

病気と治療を
結びつける

4 回生

実務実習の
準備と試験

5 回生

病院・薬局で
患者さんから
学ぶ

6 回生

卒業研究・
国家試験へ

大学によって時期や科目名は違います。ここからは“僕らの場合”です。

1年生：高校の理科が、薬の話につながる

1

2

3

4

5

6

1年生

最初は基礎。いきなり薬を全部覚えるわけではない。

主に学ぶこと

- ・ 化学・生物・物理
- ・ 数学や統計の基礎
- ・ 早期体験・基礎実習

感じたこと

- ・ 化学が得意なのは強み
- ・ 苦手分野も授業で補える
- ・ 友達と課題を進めると楽

2回生：人体と薬の“仕組み”が見えてくる



2回生

科目が増え、薬学らしさが一気に濃くなる。

主に学ぶこと

- ・ 有機化学・生化学
- ・ 解剖・生理・薬理
- ・ 製剤・衛生・分析

勉強のコツ

- ・ 暗記の前に流れを理解
- ・ 実験で知識を手で確かめる
- ・ 週単位で復習をためない

3回生：病気と治療をつなげて考える



3回生

“この患者さんなら何を選ぶ？”という視点が増える。

主に学ぶこと

- ・ 病態・薬物治療
- ・ 相互作用・副作用
- ・ 症例を使った演習

学生生活

- ・ 秋まで授業はほぼ毎日
- ・ 空きコマで課題
- ・ 研究室への興味探し

4回生：知識を、現場で使える形にする



4回生

実務実習へ行くための準備が中心になる。

大きな節目

- ・ CBT：知識を確認
- ・ OSCE：技能・態度を確認
- ・ 調剤や患者対応の練習

変わること

- ・ 知識だけでなく態度も学ぶ
- ・ 安全確認の重さを知る
- ・ 研究室での活動も本格化

研究室では、答えのない問いに挑む



僕の研究テーマ

肝臓で特定の遺伝子が働かないと、何が起こる？

- ・ DNAを増やすPCR
- ・ 電気泳動でバンドを確認
- ・ 結果を考え、次の実験へ

研究で身につくこと

観察 小さな違いに気づく

仮説 なぜかを考える

継続 失敗からやり直す

薬学は、薬を使うだけでなく
「新しい知識をつくる」学問でもある。

5回生：実務実習で学ぶ



5回生

教室の知識が、人の生活や治療につながる。

病院実習

- ・ 治療チームと薬
- ・ 検査値・副作用
- ・ 医療者との連携

薬局実習

- ・ 処方と生活
- ・ 服薬説明・在宅
- ・ 患者さんの言葉

6年生：卒業研究と国家試験、その先へ



自分にとっては、これからの1年。

01

卒業研究

自分の問いを最後まで追う

02

国家試験

6年間の知識を整理する

03

進路

薬剤師としての一步を決める

“6年間長い”ではなく、“6年間かけて専門家になる”。

卒業後の選択肢は、薬局だけではない

薬局

地域・在宅

病院

チーム医療

製薬企業

研究・開発・情報

行政

薬事・公衆衛生

臨床開発

CRA・CRCなど

大学・研究

教育・新しい知識

“薬を渡す人”だけでなく、薬を創る・守る・正しく使う仕事へ。

授業日のリアル：放課後は自分次第

08:30	09:00	空きコマ	12:20	午後	放課後
100円朝食	授業	課題	昼食	授業・実習	自分の時間

1～3回生の秋頃までは、授業がある日は基本的に毎日登校。

空きコマで課題を終わらせると、放課後がかなり変わる。

両立のコツは、完璧より優先順位

アルバイト

予定を先に決める

サークル

続け方は自分で選べる

友達

遊ぶ日もちゃんとある

筋トレ

短時間でも習慣に

趣味

勉強以外の時間も必要

休む

何もしない日も大切



「全部やる」より、
「今週は何を優先する？」

6年間でも、世界を見に行ける

長期休暇を使えば、学生生活も広がる。

17

エジプト



トルコ



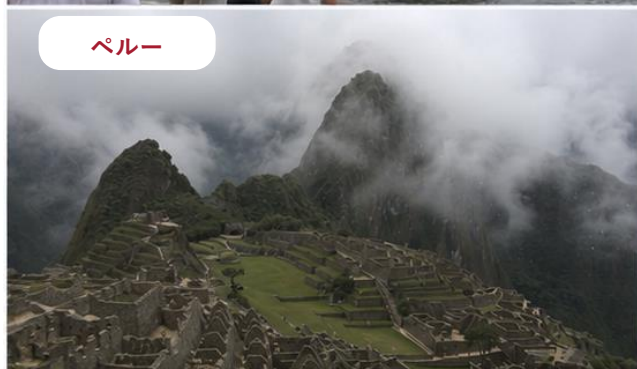
ロサンゼルス



ニューヨーク



ペルー



イギリス



インド



大変な時期はある。でも、一人で抱えなくていい

授業・課題

他学部の友達より、
忙しいと感じる時期はある。

それでも、ずっとではない。

6年間の学部生生活

同窓会で就職した友達を見ると、
少し羨ましい瞬間もある。

でも、専門性を積み上げている。

頼ることも、6年間を乗り切る力。

不安があるのが普通。友達や先生に頼っていい。

薬学部で強みになるのは、こんな人

✓ **人と話す・聞くのが好き**

患者さんの生活や不安を知る力

✓ **薬に助けられた経験がある**

疑問や感謝が学ぶ動機になる

✓ **コツコツ続けられる**

短期の暗記より積み重ね

✓ **化学・生物・物理が気になる**

“なぜ効く？”を考える土台

✓ **人を助けたい**

知識を行動に変えたい

✓ **新しいことを学び続けたい**

薬と医療は進歩し続ける

高校生に戻るなら、これを大切にする

僕なら、もう一度薬学部を目指す。

少しずつ勉強する

毎日の小さな習慣を作る

化学を楽しむ

“なぜ？”まで考える

英語力をつける

薬の名前・論文・海外に

説明する練習

学んだことを
自分の言葉にする

生物・物理も触れる

人体や薬の動きを
理解しやすい

高校生活を楽しむ

友達、部活、行事も
今を楽しむ！

高校生みなさんへ

進路は、
「好き」と「なぜ？」から選んでいい。

僕の始まりは、『なぜこの白い薬が効くんだろう？』でした。

薬学部では

薬と人体を学び、専門性で
人の命や生活を支える力を身につける。

高校生の今は

勉強も、友達も、部活も。
今しかない時間を思いきり楽しむ。

薬学部が、みなさんの選択肢の一つになればうれしいです。

実務実習の1日：まず聞き、考え、伝える

08:30	● 朝の確認	患者情報・予定を確認
10:00	● 現場で学ぶ	調剤、病棟・患者対応
13:00	● 考える	薬、検査値、生活背景
16:00	● 振り返る	指導者と課題を整理

患者さんによって、同じ薬でも伝え方は変わる。

一人暮らしは、成長して慣れていく。

最初から完璧でなくていい。

食事

自炊・学食・買うを使い分ける

洗濯・掃除

曜日や頻度を決める

お金

固定費と遊ぶお金を分ける

体調

睡眠と食事を後回しにしない

できない日は、できる方法を選べばいい。